

令和8年度 学校経営計画表

1 学校の現況

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|-----|---------------|-----|------|-----|-------|-----|--------------------|---|---------|------|-------|-------|---|---|----|
| 学校番号 | 23 | 学校名 | 茨城県立水戸桜ノ牧高等学校 | | | | 課程 | 全日制 | | | | 学校長名 | 橋本 晃輝 | | | | |
| 副校長名 | 中尾 健一 | | | 教頭名 | | | 上田 智之 | | | | 主査兼事務長名 | | 小林 武男 | | | | |
| 教職員数 | 教諭 | 55 | 養護教諭 | 1 | 常勤講師 | 1 | 非常勤講師 | 5 | 実習教諭、実習講師、実習助手、ALT | | 2 | 事務職員 | 4 | 技術職員等 | 4 | 計 | 76 |
| 生徒数 | 小学科 | | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | | 合計 | | 合計 | | | | |
| | | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | クラス数 | | | | |
| | 普通科 | | 208 | 112 | 200 | 119 | 211 | 106 | | | 619 | 337 | 24 | | | | |

2 目指す学校像

未来を担う若者としての勤労観・職業観を培うために、高い次元の「文武両道」を教育目標に掲げ、進路指導の充実と部活動の奨励に努め、思いやりのある豊かな心と将来への夢を育むたくましい生徒の育成を目指す。

グローバル化が進む中、異文化に対する理解を深め、真の国際人たるに相応しい資質を養う等、本校が創立以来推進している国際教育の振興に努める。

3 三つの方針（スクールポリシー）

| | |
|---------------------------------------|---|
| 育成を目指す資質・能力に関する方針 （グラデュエーション・ポリシー） | 卒業までに次のような生徒を育成します。 <ul style="list-style-type: none"> 未来を担う若者としての勤労観・職業観を備え、自主的・自律的に学習に取り組むことができる人財。 思いやりのある豊かな心を持ち、将来への夢を育むことができるたくましい人財。 異文化に対する理解を深め、真の国際人たるに相応しい資質を備えた人財。 |
| 教育課程の編成及び実施に関する方針 （カリキュラム・ポリシー） | 次の方針に基づいて教育課程を編成・実施します。 <ul style="list-style-type: none"> 主体的、対話的で深い学びの推進を図るとともに、上級学校への進路実現を目指す。 「文武両道」のもと、全人的な人間性の向上に努め、豊かな心と将来への夢を育むたくましい生徒の育成を目指す。 国際理解教育、国際交流活動の推進を図り、国際化に対応できる人材の育成を目指す。 |
| 入学者の受入れに関する方針 （アドミッション・ポリシー） | 次のような生徒を求めています。 <ul style="list-style-type: none"> 中学で修得すべき基礎学力の上に、各自の心身の発達及び進路に応じて、本校で高度な学力を身につけようとする生徒。 部活動や様々な学校行事に意欲的に取り組み、協働的な学びを大切にしようとする生徒。 本校で身につける資質・能力を発揮して、様々な課題に主体的に取り組む、自己と異なる意見も尊重し、国際社会で活躍しようとする意欲のある生徒。 |

別紙様式1 (高)

4 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

| 項 目 | 現 状 分 析 | 課 題 |
|-------|--|--|
| 教科指導 | 家庭学習時間は一定程度確保されているものの、学習内容を主体的に管理する能力 (自己調整学習) に課題があり、受動的な学習に留まっている。 | <ul style="list-style-type: none"> 単なる時間の確保 (量的側面) から、自らの学習を律し、状況に応じて修正を加える「自己調整学習 (質的側面)」への転換を図る。 |
| 生徒指導 | 善悪の判断基準 (規範意識) は形成されているものの、実際の行動においては目先の利便性や感情を優先し、自律的な選択に至らない場面が見受けられる。 | <ul style="list-style-type: none"> 安心安全な学校作りを目指し、職員間で足並みをそろえ、生徒に丁寧に指導していく。 自己指導能力を養うために、自らが考えて行動、判断できるように指導していく。 |
| 進路指導 | 進路決定を自己の課題として捉える意識が十分に醸成されておらず、社会との接続を具体的にイメージできていない。 自らの進路を切り拓くための情報活用能力や、具体的なアクションを起こす実行力が不足している。 | <ul style="list-style-type: none"> 生きる目的や大学進学後の人生における将来の目標を学ぶ、「考える進路指導」を行う。 大学入試の多様化へ対応する。 |
| 国際教育 | 海外研修やセミナーなどの個別のプログラムにおいて高い質的充実を図っている。これらの貴重な体験が生徒自身のキャリア形成や総合的な探究の時間と有機的に結びついた「線」としての展開が十分でない。単発の企画だけでない継続的な取り組みが必要。 | <ul style="list-style-type: none"> 探究活動と国際教育を組み合わせた体験活動等を考える。 オーストラリア短期留学の事前・事後研修を充実させるとともに、英語を使って日々継続できる研修(SITC研修)を充実させる。 |
| 特別活動 | 学校行事に対する生徒の満足度は比較的高い。しかし、合意形成能力やリーダーシップ、リスク管理能力といった社会的能力が乏しい生徒が増加している。 | <ul style="list-style-type: none"> これまでは学校行事を通じて、合意形成能力やリーダーシップ、リスク管理能力といった社会的能力が育成されていたが、それらを意図的に伸ばさせる支援が必要になっている。 |
| 働き方改革 | 令和7年度 時間外在校等時間 月平均時間 30 時間 47 分 月平均 45 時間超過者割合 23.9% 月平均 80 時間超過者割合 0.5% | <ul style="list-style-type: none"> 各校務部及び学年、部活動において、業務の見直しを積極的に推進し、働き方改革につなげる。 I C T 機器を活用し業務の効率化を図る。 |

別紙様式1 (高)

5 中期的目標

- | |
|---|
| <p>1 生徒一人ひとりが自主的・自律的に生き生きと学習に取り組む。</p> <p>2 学校生活全般を通じて生徒が課題解決力を身につけ、成功体験を積み重ねる。</p> <p>3 教職員が授業改善や児童生徒等に接する時間を確保し、効果的な教育実践ができる。</p> |
|---|

6 本年度の重点目標

| 重点項目 | 重点目標 |
|-----------------------|--|
| 自主的・自律的な学びの推進 | <p>① 生徒が自己を理解し、学習方法を試行錯誤するなど学習を調整しながら粘り強く取り組む。</p> <p>② 生徒がICTを活用しながら協働的に学ぶ。</p> <p>③ 教職員と生徒で授業をよりよいものにし、授業満足度平均 3.5 以上を目指す。</p> |
| 安心・安全な学校づくり | <p>① 教職員と生徒が協働して、けじめある温かな学級づくりを行う。</p> <p>② 生徒が悩みや不安を相談できる教育相談を実施する。</p> <p>③ 校内安全・施錠の確認徹底および危険箇所の早期発見に努める。</p> |
| 文武両道の実践による生徒の全人的成長 | <p>① 学校行事を通して、物事を円滑に進めるための様々な能力を育成する。</p> <p>② 部活動や学校行事を通して、文武両道の意味や意義を理解し、それを様々な学習に生かす能力を育成する。</p> |
| 国際理解学習による生徒のチャレンジ精神高揚 | <p>① 国際理解学習を通して他者理解を深め、他国の課題を自分事として考える意識が高まる。</p> <p>② 各種コンテストや検定への挑戦により、国際社会で通用する英語力を身に付ける。</p> |
| 教職員が創意工夫する働き方改革 | <p>① ICT機器の活用を推進し事務作業の効率化を図る。</p> <p>② 業務のマニュアル化を進める。</p> <p>③ 働き方改革について関係者の理解を得られるよう努める。</p> |